

地域おこし協力隊員

むらかみ
村上

なほよ
直代さん

(43) 南丹市日吉町

廃校になった校舎のあちこちに趣向を凝らした写真の力作が配置された。南丹市八木町の旧吉富小で2017、18年にフォトフェスティバルを企画した。

写真家が独自の目線で

捉えた南丹市の何げない風景。消防団員や遊具で遊ぶ親子の姿を切り取った構図は、見る人を心地よく感じさせる。

実験的な作品もある。水で溶けるデンブンの印画紙の写真は洗面器に浮かべられた。身元が分からないまま亡くなった「行旅死亡人」の情報を元に写真家が姿を想像して創作した写真も展示した。

「写真は新たな発見やアイデアが見えてくる。癒やされる思いもある」。自身も旧姓の「オノナホヨ」として活動する写真家。奈良県橿原市出身で、会社員の仕事の傍ら、

写真愛好家をつくるワタリドリ写真部を立ち上げ、市内の滝や廃校をめぐる撮影ツアーを企画して撮った作品を展示。日光を使って写真を焼き付けるワークショップや家族写真を使ってかるたをつくるイベントも開く。

写真を通し情報発信

写真表現大学(大阪府)で技術を学んだ。

ファイナンター越しに障害のある兄や家族を見つめ、鳥、チヨウの撮影に熱中した。菩薩面を付けた行列が練る実家近くの寺の祭りの写真で、07年に写真コンテストでグラプリに輝いた。

奈良県明日香村でゲストハウス運営やウェブデザインに携わり、地域活性化に興味を持った。

夫の転勤もあって南丹市日吉町に16年9月に移住し、地域おこし協力隊と



旧吉富小で地域おこし協力隊の活動について語る村上さん

(南丹市八木町)



(秋田久氏)